

区民委員会報告資料

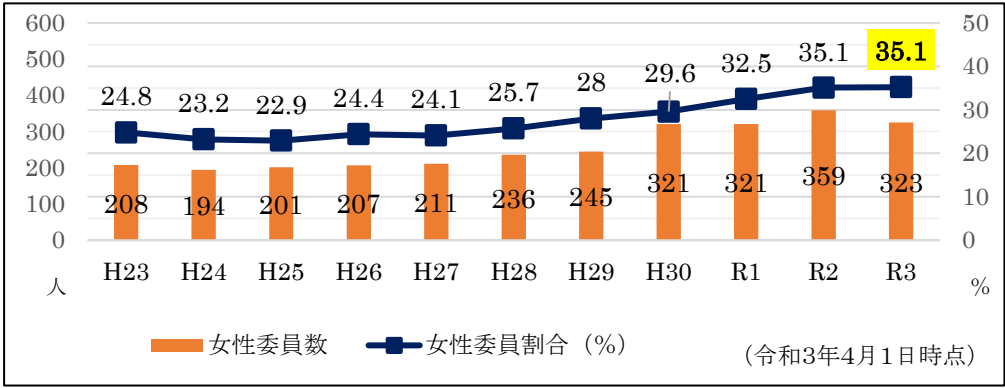
令和3年9月28日

報告事項件名	頁
1 審議会等における女性委員比率について・・・・・・・・・・	2
2 足立区文化・読書・スポーツ分野計画の進捗状況について・・・・・・・・	6
3 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の実施について・・・・・・・・	8
4 高野小学校跡地スポーツ施設基本計画の進捗等について・・・・・・・・	9
5 クライフ財団からの寄附金の受領について・・・・・・・・・・	16
6 「あだち電子図書館」の運用開始後の状況について・・・・・・・・	17

(地域のちから推進部)

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年9月28日

件 名	審議会等における女性委員比率について																																															
所 管 部 課 名	地域のちから推進部 多様性社会推進課																																															
内 容	<p>足立区男女共同参画社会推進条例（第12条）に基づき、附属機関として設置する審議会等の女性委員比率の向上の取組み結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 審議会等における女性委員の現状について</p> <p>(1) 審議会等の女性委員数と割合（休会中の審議会等除く） 令和3年：女性委員比率 <u>35.1%</u>（昨年度比 ±0%）</p>  <table border="1"> <caption>女性委員数と割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>女性委員数</th> <th>女性委員割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>208</td><td>24.8</td></tr> <tr><td>H24</td><td>194</td><td>23.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>201</td><td>22.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>207</td><td>24.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>211</td><td>24.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>236</td><td>25.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>245</td><td>28</td></tr> <tr><td>H30</td><td>321</td><td>29.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>321</td><td>32.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>359</td><td>35.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>323</td><td>35.1</td></tr> </tbody> </table> <p>（令和3年4月1日時点）</p> <p>【女性委員比率に大きな改善があった審議会等】 地域密着型サービス等事業者選定審査会 33.3%（R2） → <u>50%</u>（R3）</p> <p>(2) 出身母体に女性が少ない（15%以下）審議会等を除く参考値 <u>39.5%</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>女性委員比率15%以下の審議会</th> <th>主な出身母体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災会議</td> <td rowspan="2">警察・消防等各行政機関・地域団体の長</td> </tr> <tr> <td>国民保護協議会</td> </tr> <tr> <td>公害健康被害認定審査会</td> <td>呼吸器系内科医師、足立区医師会等</td> </tr> <tr> <td>足立区検診業務調査委員会</td> <td>がん検診業務に関する学識経験者</td> </tr> <tr> <td>柔道整復療養費案件調査委員会</td> <td>柔道整復に関する学識経験者</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 女性委員が40～60%の審議会等（詳細は別紙1参照） 全体の <u>43.9%</u>（25 / 57 審議会）</p> <p>(4) 女性委員が30%未満の審議会等（詳細は別紙2参照） 全体の <u>19.3%</u>（11 / 57 審議会）</p>	年度	女性委員数	女性委員割合 (%)	H23	208	24.8	H24	194	23.2	H25	201	22.9	H26	207	24.4	H27	211	24.1	H28	236	25.7	H29	245	28	H30	321	29.6	R1	321	32.5	R2	359	35.1	R3	323	35.1	女性委員比率15%以下の審議会	主な出身母体	防災会議	警察・消防等各行政機関・地域団体の長	国民保護協議会	公害健康被害認定審査会	呼吸器系内科医師、足立区医師会等	足立区検診業務調査委員会	がん検診業務に関する学識経験者	柔道整復療養費案件調査委員会	柔道整復に関する学識経験者
年度	女性委員数	女性委員割合 (%)																																														
H23	208	24.8																																														
H24	194	23.2																																														
H25	201	22.9																																														
H26	207	24.4																																														
H27	211	24.1																																														
H28	236	25.7																																														
H29	245	28																																														
H30	321	29.6																																														
R1	321	32.5																																														
R2	359	35.1																																														
R3	323	35.1																																														
女性委員比率15%以下の審議会	主な出身母体																																															
防災会議	警察・消防等各行政機関・地域団体の長																																															
国民保護協議会																																																
公害健康被害認定審査会	呼吸器系内科医師、足立区医師会等																																															
足立区検診業務調査委員会	がん検診業務に関する学識経験者																																															
柔道整復療養費案件調査委員会	柔道整復に関する学識経験者																																															

	<p>(5) 委員の託児状況について 委員に対して託児の需要を確認している審議会等の割合全体の <u>49.1%</u> (28/57 審議会)</p> <p>2 各年度の目標値（現在の達成率）</p> <p>(1) 令和3年度目標 36% (目標達成率 97.5%) (2) 令和6年度目標 40% (目標達成率 87.8%)</p> <p>3 各所管における女性委員比率向上への取組み</p> <p>(1) 前任の委員からの推薦がある際は女性委員の推薦を依頼する。 (2) 推薦団体に直接出向き、団体の代表等に説明を行う。</p> <p>4 今後の取組み</p> <p>(1) 委員比率が男女で偏らないよう、女性委員の割合が40～60%となるよう適正值を周知していく。 (2) 委員の改選時や委員推薦の際に、審議会の母体となる団体等に対し、所管課を通じて女性委員選出を依頼する。 (3) 審議内容等をふまえ、令和6年までに改善が見込まれる、または改善を求める必要のある審議会に対し、所管課と連携し、出身母体への働きかけを強めていく。 (4) 審議会の母体の状況や審議内容等をふまえ、多様な意見が反映される審議会づくりを目指すよう、周知を行っていく。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>今後は、審議会等の委員を通じて、区の施策に多様な意見が反映されるような工夫が必要である。 なお、女性委員比率の向上が見込まれる審議会等については、推薦の際に女性を選出するよう、所管課を通じて関係機関に依頼する等、各審議会等の女性委員比率のさらなる向上を図る。</p>

女性委員が40%以上60%以下の足立区各種審議会・委員会等

(別紙1)

(調査時点で停止中のもの、委員が選任されていないものを除く)

各年4月1日現在

	委員会名	規定された 委員数	R 2			R 3			昨年度比
			現員数	女性委員数	%	現員数	女性委員数	%	
1	債権等処理判定委員会	5	5	3	60.0%	5	3	60.0%	→
2	区民評価委員会	17	17	10	58.8%	16	9	56.3%	↓
3	公契約等審議会	4	3	2	66.7%	4	2	50.0%	↑※
4	福祉サービス苦情等解決委員会	7	6	3	50.0%	6	3	50.0%	→
5	地域密着型サービス等事業者選定審査会	7	6	2	33.3%	6	3	50.0%	↑
6	生活環境保全審議会	13	12	5	41.7%	12	6	50.0%	↑
7	建築紛争調停委員会	6人以内	4	2	50.0%	4	2	50.0%	→
8	足立区子ども施設指定管理者評価委員会	6	6	4	66.7%	6	3	50.0%	↑※
9	景観審議会	17	17	7	41.2%	17	8	47.1%	↑
10	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会	16	-	-	-	16	7	43.8%	-
11	民生委員推薦会	15	15	6	40.0%	14	6	42.9%	↑
12	障害者自立支援給付審査会	30	34	17	50.0%	34	14	41.2%	↓
13	介護認定審査会	250人以内	173	77	44.5%	173	70	40.5%	↓
14	情報公開・個人情報保護等審査会	5	5	2	40.0%	5	2	40.0%	→
15	財産価格審議会	15	15	7	46.7%	15	6	40.0%	↓
16	生涯学習関連施設指定管理者評価委員会	5	5	2	40.0%	5	2	40.0%	→
17	足立ブランド認定推進事業の認定に係る運営 業務委託プロポーザル選定委員会	10	-	-	-	5	2	40.0%	-
18	足立区社会福祉法人設立認可審査会	6人以内	-	-	-	5	2	40.0%	-
19	大気汚染障害者認定審査会	10	5	3	60.0%	5	2	40.0%	↓
20	竹ノ塚駅公共駐車場指定管理者選定等審査会	6	5	2	40.0%	5	2	40.0%	→
21	佐野六木土地区画整理審議会	10	10	4	40.0%	10	4	40.0%	→
22	建築審査会	5	5	2	40.0%	5	2	40.0%	→
23	老朽家屋等審議会	15人以内	10	4	40.0%	10	4	40.0%	→
24	足立区いじめ等問題対策委員会	5	5	2	40.0%	5	2	40.0%	→
25	育英資金審議会	10	10	4	40.0%	10	4	40.0%	→

※女性委員の数が昨年度60%を超えていたが、今年度は40～60%に是正されているものは【↑】と表示。

計 25/57 全体の43.9%

女性委員が30%未満の足立区各種審議会・委員会等

(別紙2)

(調査時点で停止中のもの、委員が選任されていないものを除く)

各年4月1日現在

	委員会名 (女性比率が低い理由)	女性比率が低い理由	規定された委員数	R 2			R 3			昨年度比
				現員数	女性委員数	%	現員数	女性委員数	%	
1	国民健康保険運営協議会	推薦団体に女性が少ない。	21	21	6	28.6%	21	6	28.6%	→
2	文化財保護審議会	推薦団体に女性が少ない。	12	8	2	25.0%	8	2	25.0%	→
3	経済活性化会議	推薦団体に女性が少ない。	30人以内	19	4	21.1%	12	3	25.0%	↑
4	成年後見制度審査会	公証人に女性が少ない。	10	4	1	25.0%	4	1	25.0%	→
5	環境基金審査会	推薦団体に女性が少ない。	9	9	4	44.4%	9	2	22.2%	↓
6	地域包括ケアシステム推進会議	推薦団体に女性が少ない。	50	31	5	16.1%	31	5	16.1%	→
7	防災会議	推薦団体に女性が少ない。	70	66	6	9.1%	66	9	13.6%	↑
8	国民保護協議会	推薦団体に女性が少ない。	70	66	6	9.1%	66	9	13.6%	↑
9	公害健康被害認定審査会	呼吸器系の医師に女性が少ない。	15	12	1	8.3%	12	1	8.3%	→
10	足立区検診業務調査委員会	がん検診業務に関する女性の学識経験者が少ない。	3	3	0	0.0%	3	0	0.0%	→
11	柔道整復療養費案件調査委員会	柔道整復に関する学識経験者に女性が少ない。	3	3	0	0.0%	3	0	0.0%	→

計 11/57 全体の19.3%

1 女性比率が低い理由

全体的に推薦団体や、専門的な分野に女性が少ないという理由が多い。

2 数字に変動があった審議会等

(1) 女性比率が向上した審査会

- ・ 経済活性化会議
- ・ 防災会議
- ・ 国民保護協議会

(2) 女性比率が下がった審査会

- ・ 環境基金審査会

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年9月28日

件 名	足立区文化・読書・スポーツ分野計画の進捗状況について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課、生涯学習支援課、3分野連携担当課、スポーツ振興課、中央図書館
内 容	<p>「足立区文化芸術推進計画」「足立区読書活動推進計画」「足立区運動・スポーツ推進計画」（以下、「3分野計画」）の推進にあたり、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会（以下、「推進委員会」）を以下のとおり開催した。</p> <p>1 第3回推進委員会について</p> <p>(1) 日程 令和3年8月27日（金）</p> <p>(2) 主な内容</p> <p>ア 第3回部会（令和3年7～8月）における意見の共有について 別紙3のとおり</p> <p>イ 各部会における助言の共有について 別添資料1のとおり</p>
問 題 点 今後の方針	庁内の関係所管で検討の上、年度末を目途として推進委員会からの助言に対する回答をまとめ、PDCAサイクルに基づく施策展開を図っていく。

	文化芸術部会 (8/4)	読書部会 (7/30)	運動・スポーツ部会 (7/26)
<p>所管課との意見交換</p>	<p>1 足立区の文化的な魅力を効果的に情報発信する (施策 4-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニコミ紙の活動指標が50万部となっているが、区民にどう届き、どういう成果(講座の参加率など)を上げているかという点は把握しているか? ミニコミ紙のデザイン性が良くないので、講座への導入を増やすためにもっと視覚的に訴えるものを作るべきではないか? 高齢者にはホームページからの講座申込が難しいため、申込画面などのチェックをしていくべきではないか。 プラットフォームをどうイメージし、どうなるうとしているのか読み取りづらい。他自治体と比較できる目標があると良いのではないか。 <p>2 連携及び交流の機会を充実し、文化芸術の推進を図る (施策 4-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自発的な集まりができるプラットフォームというのは素晴らしいが、実施は大変だと思う。何かアイディアはあるのか? 足立区はクラシックな部分と新しい部分に分かれている印象がある。この二極化した分野をつなげるものがあると良いのではないか。 文化芸術の捉え方も所管によって違うため、概念図のようなものがあると分かり易いのではないか。 プラットフォームは、区民同士が交流する場を区が主催する行政主導のものなのか? アーティストと施設管理者との交流会があればまさにプラットフォームとして発展していくのではないか。 <p>3 その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業の令和2年度の達成度において、コロナ禍で行ってきたオンラインなどの良い取組みが評価されていないので、評価の方法や指標を修正する必要がある。 文化村では、東急線沿線に住んでいる人たちが、「自分たちは文化的なエリアに住んでいる」という誇りを持ってもらうために、何ができるかを考えている。 足立区の社会課題の解決のために、文化というツールをどう活用していくのか考えていく必要がある。 アーティストや文化人は、コロナや緊急事態宣言をどう捉えてどうすれば自分たちの文化活動を守るのかを考えることも一つの使命だと思っている。 コロナ禍でどのような対策を取ればみんなが安心して楽しめるのかを考えること自体も文化活動だと思う。 大変な状況ではあるが、その時代とか社会状況に応じて、発信すべき文化活動は常にある。 	<p>1 乳幼児が本に親しむ機会の充実 (施策 1-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あだちはじめてえほん」事業以外にも、図書館に来ない方や来られない方に対して、本に親しむ機会を提供する事業を検討してほしい。 「あだち絵本シアター」で作成した動画の配信について、二次利用が出来るようになると発展性が広がっていく。 <p>2 子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信 (施策 1-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対面で実施してきた事業について、オンライン化または対面とオンラインのハイブリッド化をすることで、これまでと同等かそれ以上の成果が上がる可能性がある。色々な実施方法を検討してほしい。 他の自治体で、大人のみ対象の絵本の読み聞かせを実施し、好評だったとの話を聞いた。このような新しい形の取り組みも研究してみてはどうか。 <p>3 読書活動推進のための多様な連携と協創の推進 (施策 3-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分野間連携事業は、各分野のプロや専門家の協力や意見を得ながら、はじめは数をもっと多く揃え、そこから取捨選択するという考え方がよい。 図書館と生物園の連携イベントは斬新でよかった。今後は、ギャラクシティや都市農業公園、郷土博物館等との連携も検討しながら、読書活動に結びつく種をまく仕組みに取り組んでほしい。 食・健康と本・読書は親和性が高いので、これらに関連した区民の興味が沸くテーマでの事業ができれば面白い。 <p>4 その他意見</p> <p>(1) 学校図書館について</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として学校図書館を閉鎖するならば、その対策での「調べ学習用図書資料配送サービス」の実施が重要になってくる。 図書の貸し出しや管理の方法を工夫すれば、感染症対策のための閉鎖をせずに、学校図書館の利用継続が可能ではないか。 <p>(2) 梅田八丁目複合施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> 静寂とにぎやかな空間の比率は、従来の図書館の考え方とは違う基準で考えた方がよい。その意味で、ゾーニングを分けることは必須。また、静寂でない空間をどのような音で満たすのかも大事になる。最初から静かでないようにしてしまうことで、ここがおしゃべりして良い空間だと伝えられる。 「ちょいスポ」や「ちょいカル」等の事業も行うのならば、図書館内のスペースをいかに有効に使うかが重要。図書館の一部を多目的に使える工夫をすれば、1つの施設をいつも賑やかな空間にできる。 	<p>1 だれもが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実 (施策 1-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を踏まえ、「みる」機会を増やすために、対策を取りながらできる範囲で事業を継続してほしい。 「スポーツ広場」など、親子で参加できるような事業で、体験できる競技メニューを増やし、新しい競技を「みる」「する」機会も増やしていくことを検討してみてもどうか。 障がい者や外国人には公的な情報が届きにくいので、きめ細かな情報発信を心掛けてほしい。特に障がいのある方は、様々な情報を収集する場として、スポーツコンシェルジュを活用してほしい。 <p>2 身近な場所における運動・スポーツの推進 (施策 2-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な利用場所である公園の情報発信にあたり、コンセプトや健康遊具の有無等、用途に応じた情報発信を強化すべきではないか。 舎人地域をモデルとして、一定地域の公園の特徴をまとめて紹介したことが、好評だったと伺った。近隣にある公園をエリアで見える化できるように情報を整理して発信する手法は、今後の公園改修に合わせて対応して欲しい。 子どもの公園利用にあたり、見守りと遊び方を教えることをセットにした有償の人員配置をしてはどうか。 スポーツの入口となるようなつながりを定期的に公園で行える仕組みづくりを検討してみてもどうか。 <p>3 協働・協創による他分野との連携の仕組みづくり (施策 2-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育や学童において、スポーツや読書の要素はあるが、文化芸術分野の要素が不足しているように見受けられる。三分野連携を、教育を含め全区的に推進していくべきではないか。 地域スポーツミーティングは、共生社会の構築のプラットフォームとして、子どもやスポーツクラブの指導者にも参加していただきたい。 コロナ禍で、民間スポーツジムも独自のイベントなどができていない。施設の工事時にプールやスタジオを提供することや、指導員の派遣など、区の事業に協力する人や場所の提供が可能のため、民間との連携や情報の共有化を図る仕組みを検討してみてもどうか。 <p>4 その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> アフターコロナを踏まえ、今のうちから事業の準備を進めてほしい。 共生社会の先進国であるオランダは、障がい者に対し、どうしてもハンデがあっても参加できるかを考えてくれており、考え方そのものが日本とは違う。せっかくオランダ連携をスタートさせたのだから、今後も継続した交流を続けてほしい。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年9月28日

件 名	文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の実施について																																			
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課、生涯学習支援課、3分野連携担当課、スポーツ振興課、中央図書館																																			
内 容	<p>足立区文化・読書・スポーツ分野計画（以下、「3分野計画」。）の中間検証（令和4年度）に向けた基礎調査として、文化・読書・スポーツに関するアンケート調査を実施する。</p> <p>1 調査のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・読書・スポーツの各分野における関心や行動の実態と、関心喚起や行動変容のきっかけや課題を把握する。 ・ 3分野計画の成果指標の中には、本アンケートのみで3年毎に経年変化を把握するものが複数ある。 ・ 3分野同時にアンケートを実施することで、各分野の関心・行動の度合いのほか、分野連携施策に活用するための実態を把握する。 <p>2 調査対象・調査方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 55%;">対象者</th> <th style="width: 15%;">配付数</th> <th style="width: 25%;">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>16歳以上の一般区民</td> <td style="text-align: center;">8,000件</td> <td>郵送にて配付・回収</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>区立小学校（一部）に在籍する小学5年生の保護者・児童</td> <td style="text-align: center;">約640件</td> <td rowspan="2">学校を通じて配付・回収</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>区立中学校（一部）に在籍する中学1年生の保護者・生徒</td> <td style="text-align: center;">約750件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【参考】平成30年度アンケート回答率等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 20%;">配付数</th> <th style="width: 20%;">有効回答数</th> <th style="width: 35%;">有効回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">8,000件</td> <td style="text-align: center;">2,842件</td> <td style="text-align: center;">35.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">625件</td> <td style="text-align: center;">541件</td> <td style="text-align: center;">86.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">721件</td> <td style="text-align: center;">550件</td> <td style="text-align: center;">76.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 質問票の主な項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">継続</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・読書・スポーツ分野に対する関心 ・ 文化・読書・スポーツ分野における行動の実態 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新規</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式の影響、オンラインの活用実態 ・ 分野間連携 など </td> </tr> </tbody> </table> <p>4 今後のスケジュール</p> <p style="margin-left: 20px;">令和3年 9月 調査票の印刷・送付準備、学校への説明 10月 アンケート実施</p>	No.	対象者	配付数	調査方法	1	16歳以上の一般区民	8,000件	郵送にて配付・回収	2	区立小学校（一部）に在籍する小学5年生の保護者・児童	約640件	学校を通じて配付・回収	3	区立中学校（一部）に在籍する中学1年生の保護者・生徒	約750件	No.	配付数	有効回答数	有効回答率	1	8,000件	2,842件	35.5%	2	625件	541件	86.6%	3	721件	550件	76.3%	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・読書・スポーツ分野に対する関心 ・ 文化・読書・スポーツ分野における行動の実態 	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式の影響、オンラインの活用実態 ・ 分野間連携 など
No.	対象者	配付数	調査方法																																	
1	16歳以上の一般区民	8,000件	郵送にて配付・回収																																	
2	区立小学校（一部）に在籍する小学5年生の保護者・児童	約640件	学校を通じて配付・回収																																	
3	区立中学校（一部）に在籍する中学1年生の保護者・生徒	約750件																																		
No.	配付数	有効回答数	有効回答率																																	
1	8,000件	2,842件	35.5%																																	
2	625件	541件	86.6%																																	
3	721件	550件	76.3%																																	
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・読書・スポーツ分野に対する関心 ・ 文化・読書・スポーツ分野における行動の実態 																																			
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式の影響、オンラインの活用実態 ・ 分野間連携 など 																																			
問 題 点 今後の方針	令和3年度中に調査結果をまとめ、令和4年度の中間検証の基礎資料として活用していく。																																			

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年9月28日

件 名	高野小学校跡地スポーツ施設基本計画の進捗等について
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課
内 容	<p>高野小学校跡地スポーツ施設基本計画の進捗等について、以下のとおり報告する。</p> <p>また、7月に追加実施した、高野小学校跡地スポーツ施設に関するアンケート結果についても併せて報告する。なお、質問項目は前回（3月）と同一となる。</p> <p>1 高野小学校跡地スポーツ施設基本計画（案）等について</p> <p>(1) 基本計画について</p> <p>ア 構成案</p> <p>(ア) 計画地の位置と概要</p> <p>(イ) 施設の計画コンセプト</p> <p>(ウ) 施設の計画概要</p> <p>(エ) 施設計画図</p> <p>(オ) アンケート調査結果</p> <p>(カ) 整備スケジュール</p> <p>イ 要点</p> <p>(ア) アンケートで把握したニーズを反映（ウォーキングコースの設置等）</p> <p>(イ) 近隣の住環境への配慮</p> <p>(2) 主な課題</p> <p>ア 建築基準法第48条（用途規制）の許可</p> <p>敷地の大部分が第一種中高層住居専用地域であるため、スポーツ施設を建築するためには地域の良好な住環境を害しないと認められなければならない。そのため、基本設計で作成する図面及び次の（ア）～（イ）の内容を、令和4～5年度の建築審査会で説明する（1～2回想定）。その後、許可を受けるため、審査会に諮る。</p> <p>(ア) 光害及び騒音</p> <p>住民の視点に立ち、住環境を害さないよう、基本設計の中で分析及び整理する。</p> <p>(イ) 近隣の理解</p> <p>2回のアンケート結果などの住民意見を報告する。</p> <p>イ 江北給水所上部との機能連携</p> <p>都水道局へ江北給水所上部との機能連携を求めていく。</p>

2 多目的広場の利用イメージ、施設計画図（案）

別紙4、5のとおり

3 今後のスケジュール

- (1) 令和3年10～11月：近隣住民及びスポーツ団体などへ基本計画（案）を説明
- (2) 令和3年12月：基本計画策定
- (3) 令和4年～5年：基本設計、建築審査会、実施設計
- (4) 令和6年～7年：工事

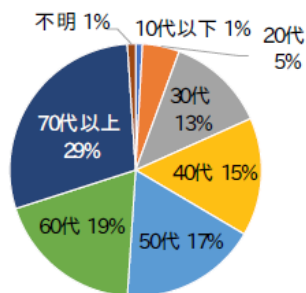
4 高野小学校跡地スポーツ施設に関するアンケート結果

(1) アンケート概要

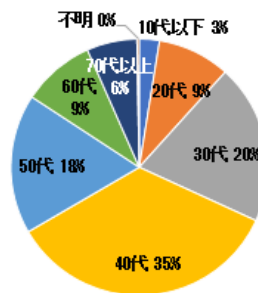
	前回（3月）	今回（7月）	合計
配布数	3,517通 高野小学校の学区 域内にポスティング	1,500通 区全域、無作為抽出 した対象者に送付	5,017通
回答数	574件 回答は紙のみ	710件 (ホームページ514件、 紙196件)	1,284件

(2) 回答者の年代

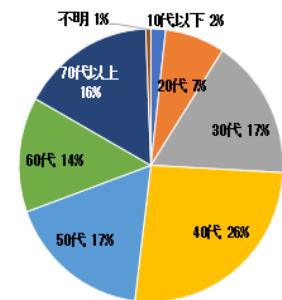
ア 前回



イ 今回



ウ 合計



60代、70代が全体の約半数を占めた。

30代、40代が全体の約半数を占めた。

30～60代が全体の約60%を占めた。

(3) 回答結果
 どの問も複数回答可
 合計欄下の () 内は回答合計に占める各回答の割合

(問1) 人工芝の多目的広場ゾーンをどのように利用してみたいか

	前回	今回	合計
時間や予約にしばられない自由利用	323件	222件	545件 (14.4%)
ウォーキング、ランニング	320件	175件	495件 (13.1%)
学童向けのサッカー	96件	349件	445件 (11.8%)
地域交流、フリーマーケットなど(イベント開催)	244件	162件	406件 (10.7%)
成人向けのサッカー	59件	298件	357件 (9.4%)
運動を始めるきっかけとなる体験教室	174件	132件	306件 (8.1%)
健康体操、ヨガ	186件	113件	299件 (7.9%)
運動を継続する定期開催の教室	167件	124件	291件 (7.7%)
フットサル	55件	236件	291件 (7.7%)
グラウンドゴルフ	67件	46件	113件 (3.0%)
その他	107件	50件	157件 (4.2%)
利用する予定はない	24件	51件	75件 (2.0%)
合計	1,822件	1,958件	3,780件

(問2) 更衣室やシャワー室、トイレなどスポーツ施設管理棟を配置する予定。他にどのような機能・設備があると良いか

	前回	今回	合計
日除け、休憩スペース	357件	490件	847件 (22.2%)
防災機能設備(マンホールトイレ、かまどベンチ)	331件	278件	609件 (16.0%)
ナイター照明	170件	414件	584件 (15.3%)
健康遊具(ストレッチや体力づくり目的の遊具)	292件	246件	538件 (14.1%)
観覧席	100件	293件	393件 (10.3%)
周辺環境配慮施設(緑化、防音壁など)	194件	194件	388件 (10.2%)
多目的室・会議室	138件	199件	337件 (8.8%)
その他	88件	37件	125件 (3.3%)
合計	1,670件	2,151件	3,821件

(問3) 主に多目的広場や建物を利用したい時間帯はいつか

	前回	今回	合計
土日祝日の日中 (9~16時)	350件	574件	924件 (28.1%)
土日祝日の夕方 (16~18時)	163件	386件	549件 (16.7%)
平日の日中 (9~16時)	326件	210件	536件 (16.3%)
平日の夜間 (18~21時)	161件	337件	498件 (15.2%)
土日祝日の夜間 (18~21時)	100件	304件	404件 (13.0%)
平日の夕方 (16~18時)	139件	236件	375件 (11.4%)
合計	1,239件	2,047件	3,286件

(問4) 小学校からスポーツ施設に変わることについての不安点

	前回	今回	合計
不特定多数の利用による治安の問題	298件	172件	470件 (21.5%)
車両の出入りによる交通の問題	245件	191件	436件 (20.0%)
大きな歓声による音の問題	161件	150件	311件 (14.3%)
災害時における避難の問題	169件	82件	251件 (11.5%)
夜間の照明による光の問題	78件	97件	175件 (8.0%)
その他	45件	19件	64件 (2.9%)
特に不安はない	126件	348件	474件 (21.7%)
合計	1,122件	1,059件	2,181件

(問5) 自由意見 (内容で分類し、複数の回答があった主な意見を記載)

- ア 施設整備 (114件)
 - ・ 人工芝のグラウンドを設置してほしい
 - ・ プールも設置してほしい
 - ・ 防音対策
- イ 多目的広場の利用方法 (45件)
 - ・ ウォーキングしたい
 - ・ 健康のために運動したい
 - ・ サッカーなどの球技ができるようにしてほしい
- ウ 利用者 (43件)
 - ・ 多様な世代が利用できるようにしてほしい
 - ・ 子どもを中心とした施設にほしい
 - ・ 一人でも気軽に利用できる施設が良い
- エ 施設の運用 (20件)
 - ・ 使用料は低価格が良い
 - ・ 夜間の利用はできないようにしてほしい
 - ・ 飲酒・喫煙は禁止
- オ その他 (137件)
 - ・ 災害時に利用できるようにしてほしい
 - ・ 周辺道路の渋滞を懸念
 - ・ 「高野」「高野小」の名前を残してほしい

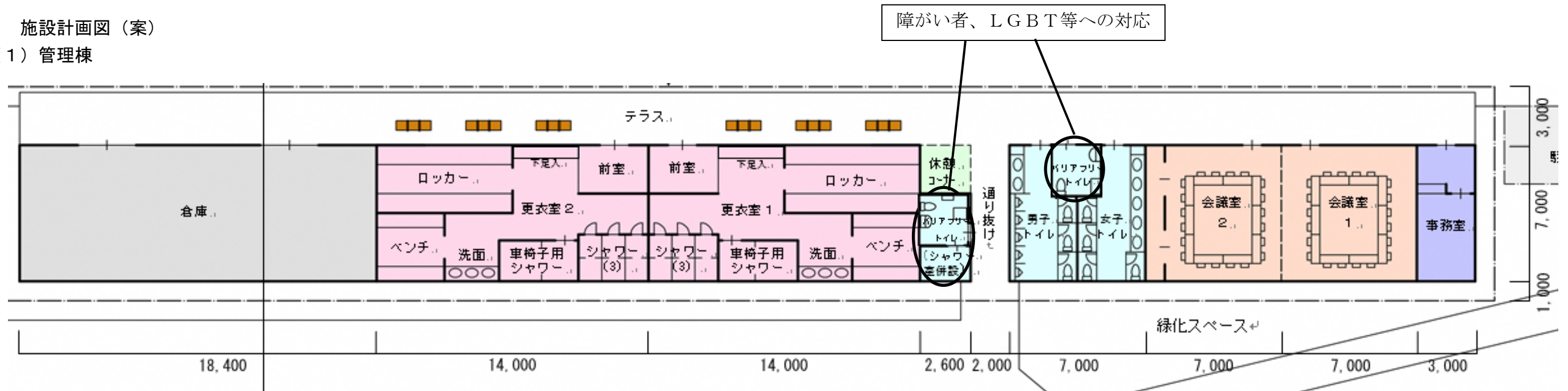
問題点
今後の方針

1 多目的広場の利用イメージ

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 16:00	グラウンドゴルフやヨガ、自由利用など (高齢者や、未就学児と保護者など)					サッカー、フットサル、フリーマーケットなどのイベント (学生や社会人など)	
16:00 ～ 18:00	サッカーやランニングなど (学生や高齢者など)					サッカーやフットサルなど (学生や社会人など)	
18:00 ～ 21:00	サッカーやフットサルなど (学生や社会人など)					サッカーやフットサルなど (学生や社会人など)	

2 施設計画図(案)

(1) 管理棟



(2) 全体配置計画図

別紙5のとおり



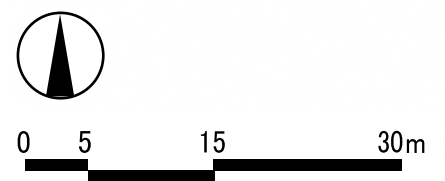
<施設区分面積>

施設名	面積
多目的広場 100m×78m	7,787 m ²
敷地内通路・歩道状空地	2,147 m ²
ウォーキングコース (西側道路を含め一周 370m)	
駐車場	354 m ²
駐輪場・屋根付 (建築物)	240 m ²
管理棟兼倉庫 (建築物)	525 m ²
緑化スペース等	1,960 m ² ※
合計	13,013 m ²

※敷地面積の15% (≥13%: 足立区緑の保護育成条例に基づく地上部の緑化基準)

多目的広場

大人用サッカーコート	94m×64m (1面)
学童用サッカーコート	68m×50m (1面)
フットサルコート	42m×25m (4面)



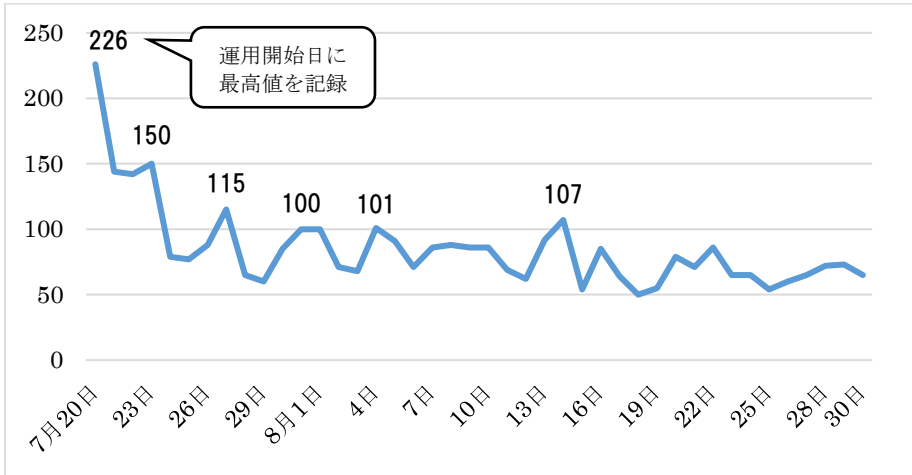
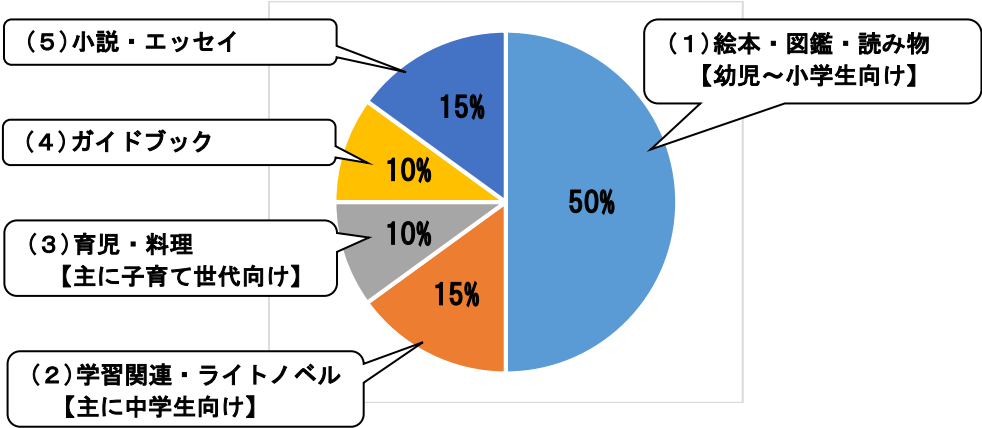
区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年9月28日

件 名	クライフ財団からの寄附金の受領について
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課
内 容	<p>1 概要</p> <p>令和3年7月9日、ヨハン・クライフ財団とスペシャルクライフコートに係る協定を締結し寄附金の請求を行ったところ、8月10日、195,000米ドルが区公金取扱金融機関に着金した。</p> <p>スペシャルクライフコートはパラリンピック開会前までに設置及び整備を行うことで進めてきたが、周辺環境整備についても8月に完了し、グランドオープンを迎えることができた。</p> <p>2 入金内容</p> <p>入金日は、金融機関に着金した翌営業日となることを公金取扱金融機関であるみずほ銀行からは事前説明があった。</p> <p>(1) 着金額 21,582,600円 米ドル公示相場 仲値110.68円(8月11日) × 195,000ドル</p> <p>(2) 入金額 21,386,100円 ア 仲値より－1円 109.68円(8月11日) × 195,000ドル イ 被仕向送金手数料 1,500円を差引く</p> <p>(3) みずほ銀行手数料額 196,500円 上記(1)と(2)の差額。内訳は以下のとおり。 ア 1ドルにつき1円の換算経費 195,000円 イ 被仕向送金手数料 1,500円</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 上記2(3)みずほ銀行手数料額196,500円については別途歳出予算を計上し、寄附金の歳入科目へ振替予定。</p> <p>(2) 寄附金は、令和2年度歳入予算として20,000,000円を計上していたが、結果として未調定となった。</p> <p>今般、入金があり前年に比べ円安傾向になっていたことから、入金額としては、約1,380,000円余の増となった。</p>
問 題 点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月補正で寄附金に係る予算計上を行う予定

区民委員会報告資料

令和3年9月28日

件名	「あだち電子図書館」の運用開始後の状況について																										
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 中央図書館																										
内容	<p>令和3年7月20日に運用を開始した「あだち電子図書館」について、現在の状況を報告する。</p> <p>1 利用登録者数 2,421人（8月30日現在）</p> <p>2 貸出冊数（運用開始日から8月30日まで） (1) 運用開始日をピークに、連日50冊から100冊前後を推移 (2) 運用開始日からの累計貸出冊数は3,572冊</p>  <table border="1"> <caption>貸出冊数の推移</caption> <thead> <tr> <th>日</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7月20日</td><td>226</td></tr> <tr><td>7月23日</td><td>150</td></tr> <tr><td>7月26日</td><td>115</td></tr> <tr><td>7月29日</td><td>100</td></tr> <tr><td>8月1日</td><td>101</td></tr> <tr><td>8月4日</td><td>107</td></tr> </tbody> </table> <p>3 貸出回数上位50点の分野別内訳 導入開始後の状況については、当初の狙いどおり「子ども（幼児から中学生まで）」「子育て世代」関連の貸出しが伸びている。</p> <p>貸出回数上位50点の分野別内訳【8月30日現在】</p>  <table border="1"> <caption>貸出回数上位50点の分野別内訳</caption> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>(2) 学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>(3) 育児・料理【主に子育て世代向け】</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>(4) ガイドブック</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>(5) 小説・エッセイ</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table>	日	貸出冊数	7月20日	226	7月23日	150	7月26日	115	7月29日	100	8月1日	101	8月4日	107	分野	割合	(1) 絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】	50%	(2) 学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】	15%	(3) 育児・料理【主に子育て世代向け】	10%	(4) ガイドブック	10%	(5) 小説・エッセイ	15%
日	貸出冊数																										
7月20日	226																										
7月23日	150																										
7月26日	115																										
7月29日	100																										
8月1日	101																										
8月4日	107																										
分野	割合																										
(1) 絵本・図鑑・読み物【幼児～小学生向け】	50%																										
(2) 学習関連・ライトノベル【主に中学生向け】	15%																										
(3) 育児・料理【主に子育て世代向け】	10%																										
(4) ガイドブック	10%																										
(5) 小説・エッセイ	15%																										

4 貸出回数上位5点（8月30日現在）

絵本（うごくえほんを含む）のほか、料理関連書籍など子どもや保護者向けの書籍の貸出しが進んでいる。

- (1) 東京 2020 パラリンピック公式ガイドブック
- (2) これだけは知っておきたい言葉づかい
- (3) 999 ひきのきょうだい（うごくえほん）
- (4) 東京 2020 オリンピック公式ガイドブック
- (5) あなぐまのクリーニング屋さん（うごくえほん）

問題点
今後の方針

利用登録者数が想定以上に伸びていることから、年度内に購入予定の電子書籍の手続きを早急に進め、蔵書数の拡大に努めていく。